

LION

ライオン誌例会 開催ガイド

1. 通常例会編

2. 特別例会編

「ライオン誌例会のススメ」

ライオン誌日本語版委員会はクラブ例会でのライオン誌の活用を推奨しています。ライオン誌を取り入れることで、例会に活気を与え、ひいてはクラブ活性化や退会防止につながることを期待しています。

ライオン誌には、国際会長の方針や全国のクラブの活動報告を始め、ライオンズクラブに関する豊富な情報が詰まっています。クラブ例会で、他クラブの活動や、国内外のライオンズの動きを紹介したり、記事を材料に話し合ったりすることによって、クラブ運営やアクティビティのヒントが見つかることでしょう。それが、会員に新たな刺激や発見の機会を与え、ライオンズ活動への興味や意欲を高めることにもつながります。

このガイドでは、通常例会の中に取り入れて手軽に実施出来る方法と、ライオン誌特別例会の実施方法を提案しています。これらを参考に、クラブの実情に合うテーマや手法を考えて実施してみてください。

今後も読者会員の皆様に愛され、待ち望まれるライオン誌を目指して、委員一同、力を尽くして参ります。貴クラブの益々の発展のため、ライオン誌をお役立て頂ければ幸甚に存じます。

2019-20年度ライオン誌日本語版委員会
(2019年12月6日)

1. 通常例会編

例会プログラムにライオン誌に関する話題を取り入れてみましょう。以下に挙げる具体例の中から、組み入れ易いものを見つけてください。

●会長あいさつ

ライオン誌最新号の中で特に印象に残った記事に触れて、会員の皆さんにも閲読を勧める

●PR・情報委員長タイム「今月のライオン誌」

委員長が気になった記事や、会員に読んでほしい記事を選んで紹介する

例) ・国際会長の方針、国内外の情報

・自クラブのアクティビティの参考になる活動事例（「活動報告」）

・印象に残ったエッセー、提言（「獅子吼」）

◎3分間スピーチ「ライオン誌・私はこう読んだ」

ライオン誌の記事に関するショート・スピーチ。事前に指名を受けた会員が、ライオン誌で印象に残った記事を紹介し、それにまつわる感想、意見を発表する

◎テールツイスター・タイム

ライオン誌の記事を材料にしたクイズを出題

2. 特別例会編

ライオン誌を活用した特別例会を企画してみましょう。ここでは二つの実施例を挙げました。

「ウェブマガジンに親しむ例会」は、会員がウェブマガジンの記事に関する発表を行う内容です。ライオン誌ウェブマガジンへの興味を高めると同時に、会員同士で情報を共有し合い、相互理解を図ることにもなります。またこれを気に会員全員が気軽にウェブマガジンにアクセスできるよう、疑問点なども出し合おうと良いでしょう。

「ライオン誌ディスカッション例会」は、記事を参考にテーマを選び、みんなで議論する例会です。アクティビティやクラブ運営について共に考え、知恵を出し合ってみましょう。ここに挙げた事例では、30～40分間を目安に実施出来る時間配分でプログラムを組んでいます。クラブで行いやすいよう、内容や時間配分を工夫して実施してください。

◎ウェブマガジンに親しむ例会（プログラム案）

①PR・情報委員長のあいさつ〈3分〉

開催の趣旨や、ライオン誌ウェブマガジンに関する説明

②会員発表〈1人3分・5人程度 15～20分〉

会員には例会前にウェブマガジンの中から、気になった記事、印象に残った記事をピックアップしてもらっておき、その内容や感想をスピーチしてもらう

※プロジェクターを用意して、取り上げられる記事やページを全員で見ながら発表を聞く

③質疑応答〈5分〉

アクセスについての疑問点や、活用の仕方の提案などを提案してもらい、ウェブマガジンをより身近に感じてもらう

◎ライオン誌ディスカッション例会（プログラム案）

①PR・情報委員長のあいさつ〈2分〉

開催の趣旨や、進行に関する説明

②ライオン誌記事とディスカッション・テーマの説明〈3分〉

題材となる記事の概要を紹介。どんな目的で、何をテーマにディスカッションを行うのか説明する

※プロジェクターを用意して、該当記事を映写

③ディスカッション〈15～20分〉

少人数（5～6人）のグループに別れてのブレイン・ストーミングや、フリー・ディスカッションを行うことで、全会員が参加し、発言することが出来る

④発表〈10～15分〉

発表者（あらかじめ決定しておく）によるまとめの発表

⑤クラブ会長による講評〈2分〉

どのような成果があったか、今後のクラブの活動、運営にどのように生かしていきたいか、など